

# 公園魅力アップ計画 ～大柵公園～

## ■企画の目的

地域住民に親しまれる公園の魅力アップを図る。

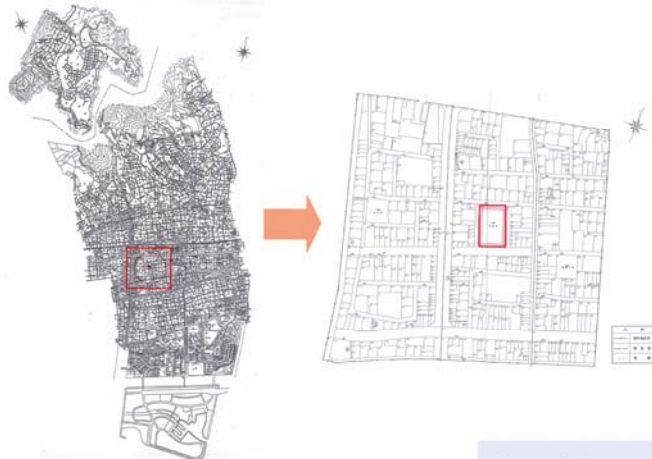
## 【街づくりのコンセプト】

大柵公園は、平成7年に発生した阪神・淡路大震災により街の8割の建物が倒壊した芦屋中央地区の区画整理により整備された公園である。当該地区には元々公園はなく、災害時の住民の避難地としてはもとより、ピオトープを配置した当公園は普段から広く地域住民に利用されている。

## 【街づくりのコンセプト】

2月頃からのロウバイの開花を皮切りに4月末頃まで花の香りを楽しむことができる。

## ■箇所図

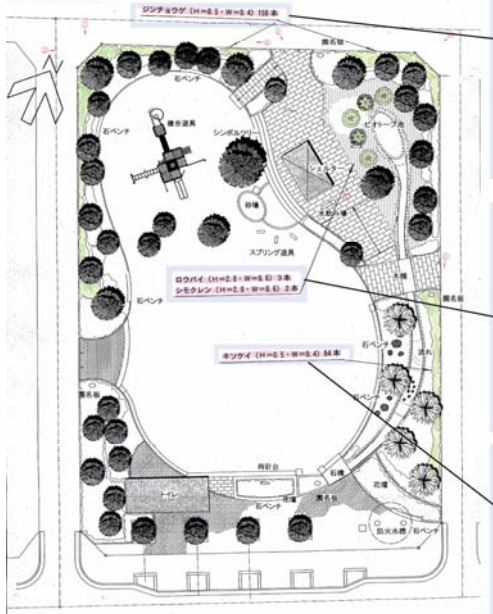


## ■現状写真



当該公園のある地区は、平成7年の阪神・淡路大震災で8割の家屋が倒壊し、大きな被害を受けた。そのため、市は区画整理事業により宅地や道路・公園等の整備を行い、平成15年に完了した。当初、当該地区には公園はなく、新たに出来たこの公園は地域住民のための災害時の一時避難所としてだけでなく、子供の遊び場に、また大人の憩いの場としても今日まで親しまれてきた。さらに、そこに香りの樹木を植えることで、公園の魅力をより増すことだろう。

## ■完成予想図



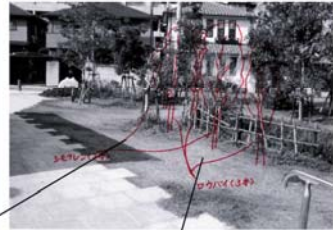
## ジンチョウゲ



## シモクレン



## ■完成イメージ1



## ロウバイ



## キシケイ



## ■完成イメージ2



## ■企画の効果

1. 街作りへの効果  
花の咲く木は人の視覚・嗅覚を満足させ、「やさしい街づくり」に貢献する。
2. 香り環境への効果  
「香りの公園」は季節を感じることが出来る効果がある。
3. 住民への効果  
住宅に囲まれた公園のため、公園としての機能だけでなく、地域住民の庭の延長として親しまれる。
4. その他  
当公園は遊具もあればピオトープもあり、幼児からお年寄りまで幅広い年齢層の利用がある。さらに香りの樹木を植えることにより、より魅力のある公園になる。